

2 学期始業式 校長あいさつ

校長 山田 義二

2 学期が始まります。がんじゅうな夏休みを過ごしましたか。進路についてやるべきことをやった、部活動ばかりだった、アルバイトをした。それぞれがそれぞれの思いや考えに基づいて過ごした夏休みだったと思います。まずは、皆さんが事件・事故に巻き込まれたという報告がなかったこと、そして全校生徒が今日の始業式に登校してくれたことが一番のよかったことだと思います。本当にありがとうございます。

1 学期終業式では、役割をこなし心の力を鍛えましょうと話しました。役割をこなす、役割をやり遂げる、役割を全うすることはとても大事なことです。また、皆さんが住んでいる地域にも皆さんの役割があり、夏休みには各地域の活動に参加してみてはどうですかとも話しました。地域の一人として地域活動に参加した皆さん、ありがとうございます。SDGs パスポートは活用できましたか。おとといも村陸上競技大会があり、ボランティア部を中心に多くの皆さんが競技役員として大会を支えていただきました。支えていただきました皆さん本当にありがとうございました。校門前の花壇もガーデニング7の皆さんが散水してくれたおかげで台風を乗り越え、花々が咲き誇っています、ありがとうございました。

さて、最初に金子みすゞという詩人の「こだまでしょうか」という詩を紹介します。「こだま」とは、山や谷に向かって声を発したときにその音が反射して帰ってくるというものです。「こだま」という言葉の意味を踏まえて聞いて下さい。

「遊ぼう」というと「遊ぼう」という。

「馬鹿」というと「馬鹿」という。

「もう遊ばない」というと「遊ばない」という。

そして、あとでさみしくなって、

「ごめんね」というと「ごめんね」という。

こだまでしょうか、いいえ、誰でも。

という短い詩です。誰かが「遊ぼう」とて声を掛けると、友達が「遊ぼう」とて答える。「馬鹿」とて言うのと「馬鹿」とて返す。これは、自分の発した言葉や態度は、そのまま相手からこだまのように自分に返ってくるということで、人というのは、たった一言で微笑むこともでき、たった一言でケンカになったり傷つけたりします。人と人をつなぐ言葉によって、相手への優しさや思いやりを考えさせる内容になっていると思います。

さあ、改めて2 学期が始まります、これまでも「チーム宜野座」として「コミュニケーションは言葉のキャッチボール」ということを大事にしてきました。いい言葉を使うことからい

いいコミュニケーションが生まれ、いいコミュニケーションからいい時間が生まれると私は信じています。2学期には学園祭があります。各学級で自分たちらしい取組を考えているはずです。コミュニケーションをとりながら皆さん一人ひとりがきちんと役割を果たすことが、「やってよかった」という達成感や「やり遂げた」という満足感につながります。そして、それぞれの思いや努力が互いに響き合うことで、チームとしての一体感が生まれます。先ほどの「こだまでしょうか」という詩のように、クラスメイトの一人ひとりが「こだま」でつながっているんだという思いを持ちながら頑張ってほしいと思います。それが「心の力」を鍛えることにもなると思います。

話は変わりますが、スパイスカレーという言葉が最近よく聞きます。スーパーで売っている固形ルーを使わずにインドやネパールのカレーのようにスパイスを使うカレーのことで、使っているスパイスには様々な個性的な役割があるようです。色や香りをつけるもの、辛みなどの刺激や味のアクセントを加えるものがあるようです。カレー独特の鮮やかな黄色を付けるスパイス、エスニックな香りや爽やかで柑橘系の香りを付けるスパイス、また、辛みについて、唐辛子のような辛みや黒胡椒のような辛みなど、さらに、食べてすぐに感じる辛みから食べてしばらくして感じる辛みまで様々なスパイスの刺激が感じられるようです。一皿の料理に様々なスパイスが混ざり合って素晴らしいおいしさを表現しているのです。

私が伝えたいことは、どうぞ皆さんのクラスも学園祭に向けてスパイスカレーのようにそれぞれの個性が一つの料理として役割を発揮するように頑張ってもらいたいということです。一つひとつのスパイスには様々な役割があるように、皆さん一人ひとりにもかけがえのない個性と役割があります。それぞれの持ち味を発揮し、互いに認め合いながら力を合わせれば、きっと美味しい「一皿」が完成するはずです。クラスみんなで、そして学校全体で最高の「一皿」のを作りあげていきましょう。

では、2学期も「チーム宜野座」として、一人ひとりがそれぞれの持ち味を発揮し、相手を思いやるコミュニケーションを重ね、一歩ずつ前に進んでいきましょう。その一歩ずつ進んでいくことが皆さんの成長につながります。2学期も様々な活動への主体的な参加・協力をよろしくお願いします。

では、私の話が皆さんの心に届いていることを期待して、2学期始業式のあいさつとします。静かに聞いてくれてありがとうございました。